

## ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年3月）

### 【要旨】

経済では、2021年度予算において、新型コロナ対策に係る特別支出として、保健省に105億ドルを充当することが決定した。日・ジャマイカ関係においては、日本からの約2億6000万ドル相当の医療機器贈与に伴い、オンライン贈与式が実施された。新型コロナウイルス関連では、10日、ワクチン接種が開始された。

### 1 内政

#### （1） JLP と PNP

ア マーク・ゴールディング野党党首は、ホルネス首相に対し、ヴェイルロイヤル（首相官邸）対話を再開するよう要請している。同対話は、両党首の前任が取り組んでいたもので、国家に重要な影響をもたらす問題を与野党両党者間で議論し、両者の共通理解を図るために行われていた。（16日付広報局）

イ ホルネス首相は18日、ゴールディング野党党首が16日の予算審議にて、ベネズエラのマドゥーロ政権を激しく非難するという米州機構（OAS）におけるジャマイカの役割に懸念を示し、国際社会における JLP 政権下のジャマイカの評判は崩壊してきていると発言したことに対し、強く反論した。（19日付グリーンナー紙）

### 2 経済

#### （1） 治安向上への投資

国家安全保障省による100のコミュニティーを対象とする市民安全プラン（CSP）において、5年間で430億ドル以上の支出が見込まれる。（3日付広報局）

#### （2） 経済動向

ア 2021年度財政政策文書によると、2021年度から2024年度におけるジャマイカ経済は、4.1%の成長があると予測されている。（5日付広報局）

イ クラーク財務大臣は9日、新型コロナによる経済への影響を以下の通り言及した。

- ・ 2020年度の観光業による外国為替の流入は、74%減、25億米ドルの減少が予測される
- ・ 2020年度、12%のGDP減少が予測され、これはジャマイカ歴史史上最悪の経済縮小である
- ・ 国家歳入は、700億ドルの減少が予測される
- ・ 2015年から2020年までに創出された10万の職は、新型コロナがジャマイカで流

行し始めた最初の4ヶ月で喪失した

- ・ 海外移住者による国内の家族への送金額は通常より6億米ドル増加し、2019年度は23%の増加が見られた (10日付グリーナー紙)

ウ 2021年度、政府はGDPの約6%の1,140億ドルを教育分野に投資する。(11日付広報局)

エ 政府は2021年度予算において、新型コロナ対策に係る特別支出として、保健省に105億ドルを充当する。この中にはワクチンの調達、分配にかかる60億ドルが含まれる。(11日付広報局)

### (3) デジタル通貨

クラーク財務大臣は、2022年までにジャマイカにおいてデジタル通貨が使用可能になると発表した。(10日付オブザーバー紙)

### (4) 特別経済区域

ホルネス首相は18日、12の新たな特別経済区域(SEZ)を建設中である旨発表した。(21日付広報局)

## 3 外交

### (1) 米州開発銀行による支援

政府は、新型コロナの影響による経済危機に対応するための効果的且つ有効性の高い公共政策及び財政運営強化のため、米州開発銀行(IDB)より7,500万米ドルの融資を受ける。(11日付オブザーバー紙)

### (2) 国際協定への加盟

税関手続きの簡易化及び協調に係る国際協定(RKC)(通称:改訂版京都協定)へのジャマイカの加盟が決定した。(12日付広報局)

### (3) 国際会議

ア バイデン米大統領は、4月22日から23日にホワイトハウスにてオンラインで開催される気候首脳会議において、アンティグア・バーブーダ及びジャマイカの首相を含む世界40ヶ国の首脳を招待している。(29日付オブザーバー紙)

イ トルドーカナダ首相との共催による各国首脳及び国連のオンライン会議において、ホルネス首相は、国連が“迫り来る債務危機”と呼んでいる問題に対し、開発途上国の債務問題を改善するための特別流動ファンドの創設や債務スワップといった革新的な財政手段の活用の可能性について問題提起した。(30日付オブザーバー

紙)

#### 4 日・ジャマイカ関係

##### (1) 日本政府による医療機器の贈与

日本政府は、ジャマイカへの新型コロナ支援として約2億6000万ドル相当の医療用品及び医療機器を全国の7病院に贈与した。2日、オンライン贈与式がキングストン公立病院(KPH)にて実施された。(3日付グリーンナー紙)

#### 5 新型コロナウイルス関連

##### (1) ワクチン関連

ア 8日、インド政府より寄付された最初の新型コロナワクチン5万回分がジャマイカに到着した。11日までにさらに14,400回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着予定である。(9日付広報局)

イ 10日、3,280人の医療従事者が一番最初のワクチンを接種予定である。同週末には17,050人の医療従事者、2週目にジャマイカ国防軍(JDF)及びジャマイカ警察(JCF)の職員が接種対象となる。(9日付広報局)

ウ タフトン保健大臣は10日、新型コロナワクチン接種初日には、当初の対象者の83%である2,718人が1回目の接種を完了したと報告した。(12日付広報局)

エ 国家保健機構(NHT)は、米モデルナワクチン2万回分が2週間以内に到着予定であることを確認した。(26日付グリーンナー紙)

##### (2) 政府による対策

ア ホルネス首相は8日、今後3週間で政府のコロナ対策の成果が見られなければ、再度のロックダウンもあり得ると警告した。(8日付グリーンナー紙)

イ ホルネス首相は、23日以降の新型コロナ対策において、3週間の週末外出禁止令を発表した。土曜日12時から月曜日5時まで外出禁止となる。(21日付グリーンナー紙)

##### (3) 変異株の確認

8日、国内でイギリス型変異株の感染者を確認したことが明らかになった。(8日付グリーンナー紙)

##### (4) 酸素、高需要

国内唯一の医療用酸素供給業者であるIGL Blue株式会社は、過去3週間で医療用酸素の需要が500%高まっており、多くの病院で、以前であれば週2回の供給だったところ、

現在は毎日供給していると述べた。(18日付オブザーバー紙)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。